

The 6th JBA–BioPhorum Seminar

Materials of Concern

(バイオ医薬における懸念材料)

開催日時 : 2024年4月23日 (火) 16時00分~17時00分)

セミナー形式 : MS-Teams (定員100名)

主催 (一財)バイオインダストリー協会

16:00~16:05 Greeting Speech from chairperson

Chairperson : Hirokazu Sugiyama

(Professor, Department of Chemical System Engineering,
School of Engineering, The University of Tokyo)

16:05~16:45 Title: Materials of Concern

Presenter : Bob Brooks (BioPhorum)

16:45 ~16:55 Q & A

16:55 ~17:00 Closing Statement

* 講演は英語にて行います

BioPhorum (旧BPOG) は、米国環境保護庁のエチレンオキシド (EtO) 滅菌施設の排出レベル管理強化と欧州化学物質庁の有機フッ素化合物 (PFAS) 使用制限提案に対応するため、2つのチームを編成し、公開協議に回答を提出しました。環境機関から提案された変更は、既存および新規のバイオ医薬の製造に悪影響を及ぼすことが判明しました。即ち、「懸念材料」が発生した場合、その使用からの移行を管理するためのハイレベルな業界アプローチが存在しないということです。Materials of Concern ワークストリームは、業界が「懸念材料」から移行するための枠組みを構築することを目的としています。今回のセミナーでは、EtOとPFASをテストケースとするBioPhorumの取り組みを概説いただきます。

参加申込み : JBAホームページよりお申し込みください。
締切 : 2023年4月21日 (日) 17時
お問合せ : (一財)バイオインダストリー協会
(担当 : 北嶋、渡邊、岸本、瀬下)